

春

の素謡

すうたい

仕舞の会

しまい

言葉の響きの美しさ——。

素謡 能の台本を謡い語る

仕舞 能の一部を紋付袴姿で舞う



Yoroboshi
弱法師 越賀 隆之

Senju
千手 井上 裕久

Motomeduka
求塚 片山九郎右衛門

Fujito
藤戸 梅若 実

Su-utai & Shimai

2018 Spring, Kyoto Kanze Noh Play Theater.

日時
平成30年 3月11日(日)
午前11時 開演 (10時30分開場)

場所
京都観世会館
京都市左京区岡崎円勝寺町44

入場料
チケットのお申込みは、お電話またはホームページから受付承ります。
一般前売 4,500円
一般当日 5,500円
全館自由席 学 生 2,500円



春の素謡と仕舞の会

平成三十年三月十一日(日)
午前十一時開演(十時三十分開場)

弱法師

越賀 隆之 橋本擴三郎
浦田 親良 越賀 隆之
河村 和貴 小野 朗
大江 信行 大江又三郎
浦部 幸裕 橋本擴三郎

千手

重衛 味方 團 河村 博重
井上 裕久
樹下 千慧 吉浪 壽晃
大江 泰正 味方 裕久
松野 浩行 井上 博重
浅井 通昭 河村 博重

求塚

宮本 茂樹 河村 晴道
梅田 嘉宏 武田 邦弘
片山九郎右衛門 浦田 保浩
深野 貴彦 河村 晴道
宮本 茂樹 武田 邦弘
梅田 嘉宏 片山九郎右衛門
分林 道治 浦田 保浩

(二時三十分頃)

淡路

河村浩太郎 河村 和晃
吉田 篤史 河村 晴久
林 宗一郎 河村 晴久
橋本 忠樹 橋本 光史

休憩二十分

休憩二十分

藤戸

玄祥改メ 梅若 実 青木 道喜
河村 和晃 浦田 保親
林 宗一郎 河村 和重
田茂井廣道 梅若 道喜
大江 広祐 青木 道喜

附祝言

(終了予定 三時四十分頃)

主催 公益社団法人 京都観世会
※時間はおよその目安です。

素謡とは

能の台本(謡本)を、舞台上で謡う演奏形式です。謡うことと謡うことで情景や心情を表現します。能には「源氏物語」や「平家物語」などの古典を題材にした名作が多く伝わり、おり、詞(詞章)の美しさは高い評価を得ています。素謡は、その「謡うこと」の謡うことのみをシンプルに表現の面白さから、大正の頃より大変な流行となりました。また、京都には歴史的に「京観世」とよばれる「素謡」の文化があります。江戸初期寛文の時代、服部宗巴(九世観世大夫黒雪の弟、服部権元の息、のちに福王盛親)が、西陣にあってといわれる観世屋敷で謡の教授をしたのが始まりです。以後、京都では能だけでなく、人々が謡だけをたしなむ「素謡」というジャンルが好まれ、連綿と受け継がれてきました。戦前は、京の辻々で謡の音がよく聞かれたようです。情緒豊かな「素謡」をライブでじっくりと、聴いてみてください。

仕舞とは

能の「目見せ(まめせ)」を、紋付袴姿で、謡にあわせて舞う演奏形式です。ほとんどの曲は扇を持ちますが、演目によっては長刀や杖などを持つものもあります。舞い手の骨格が見えやすいので、能のデッサンと評され、演者の個性と技がじっくり楽しめます。数分の演技で能の醍醐味が味わえます。

弱法師 あらすじ

高安通俊は、人の讒言を信じ、を憚り夜更けに名のり出ること追放してしまつた我が子のために、弱法師は日想観を唱へ、天王寺で七日間の施行を行います。そして今日、満願の日に入ります。その青年、弱法師が施行の盲目の青年、弱法師が施行を受けにやってくるが、その袖に梅花が散り、弱法師はこれに仏の慈悲であると感謝し寺の縁を記を語ります。通俊はそれが我が子であると気付きますが人目

求塚 あらすじ

早春、旅の僧が生田の野で菜摘女たちに出会い、求塚のありかを探ります。一人の女が求塚へを導き、昔ここで二人の少女をめぐり二人の男が争つたことを語り、男たちは争いの中で生田川の一羽のオシドリを射殺します。少女はどちらとも決められず、また自分のために罪のない水鳥までも傷つけてしまったと、自ら生

千手 あらすじ

丁谷の合戦で捕えられた平家の大将重衡は、鎌倉の狩野介宗茂に預けられます。源頼朝はこの若い貴公子に同情し、慰めにと手越の宿の長者の娘である千手を遣わします。重衡は頼朝に出家を願ひ出たもののその望み叶わぬことを告げられ、これも南都焼き討ちの報いであろうと嘆き、ある雨の夕べ、千手を詩を送ります。

藤戸 あらすじ

備前国藤戸の合戦で功を成した佐々木盛綱はその恩賞に尼島を賜う。早速任地に赴き、新島などあれば申し出よと触れを出します。そこへある女が現れ、我が息子は藤戸の浦で漁をする者であったが、馬で渡れる浅瀬を盛綱に教められ罪なく殺された、と詰め寄ります。初めは知らぬふりをして盛綱ですが、なおも我が子

春の素謡と仕舞の会

日時 平成30年 3月11日(日) 午前11時開演(10時30分開場)
場所 京都観世会館 京都市左京区岡崎円勝寺町44
入場料 一般前売 4,500円 一般当日 5,500円 学生 2,500円

【お問い合わせ】 web予約も可能です。
TEL.075-771-6114 http://www.kyoto-kanze.jp

※お車の方は、会館東隣りの駐車場、または岡崎公園官営駐車場をご利用ください。
※見所内での写真撮影・録音・録画はご遠慮ください。
※携帯電話の着信音・時計のアラーム音が鳴らないよう、あらかじめ電源をお切りください。
※都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。



【交通アクセス】

- 京都駅から
●地下鉄丸線「国際会館ゆき」乗車「烏丸御池駅」にて地下鉄東西線「六地藏ゆき」「浜大津ゆき」に乗り換え「東山駅」下車出口1より北へ徒歩約7分
●京都駅前バスのりばD1より市バス100系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車(所要時間約45分)
- 四条河原町から
●バスのりばGより市バス46系統「東山仁王門」下車(所要時間約20分)
- 京阪三条駅から
●市バス5番系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車 地下鉄東西線「東山駅」下車